

平成26年上尾市教育委員会第2回臨時会 会議録

- 1 日 時** 平成26年8月4日（月曜日）
開会 午後2時00分
閉会 午後4時21分
- 2 場 所** 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員** 委員長 細野宏道
委員長職務代理者 本田直子
委員 甲原裕子
委員 吉田るみ子
委員 岡田栄一
教育長 岡野栄二
- 4 出席職員** 学校教育部長 西倉剛
教育総務部次長 保坂了
学校教育部次長 野田正
学校教育部次長 兼 学務課長 石塚昌夫
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 上野明
教育総務部 教育総務課長 西嶋秋人
資料作成委員会委員長 渡邊靖夫
資料作成委員会副委員長 柿崎登
各専門部会長
書記 教育総務課主幹 加藤俊市
教育総務課主任 桑名孝徳
教育総務課主任 鈴木加代子
- 5 傍聴人** 9人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 協議

平成27年度使用小学校教科用図書採択について

日程第4 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(委員長) 皆様こんにちは。ただ今から、平成26年上尾市教育委員会第2回臨時会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はありますか。

(教育総務課長) 9人の方から傍聴の申出があります。委員長の許可をお願いします。

(委員長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

～ 傍聴人入場 ～

(委員長) それでは、日程にしたがいまして、会議を進めます。

日程第2 本臨時会の会議録署名委員の指名

(委員長) 続きまして、「日程第2 本臨時会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、吉田委員をお願いいたします。

(委員) はい。

日程第3 協議

(委員長) 続きまして、「日程第3 協議」でございます。本日は、本年度、採択いたします教科用図書に関しまして、採択に必要な資料を作成するために設置されました「教科用図書選定に係る資料作成委員会」が作成した選定資料について報告いただけるとのことです。それでは、教育長お願いいたします。

(教育長) 本日は、私から教科用図書の採択につきまして、報告させていただきたい旨をお願いし、委員長に臨時会を招集していただきました。なお、本日、資料作成委員長の渡邊校長、副委員長の柿崎校長、順次、専門部会長を同席させていただきますのでよろしくお願いいたします。さて、皆様すでにご案内のとおり、今年度は、小学校において使用する教科用図書の採択を行う年度であります。これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基

づいております。教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものがあります。上尾の子どもたちの学習に最も適切な教科用図書を採択することは、私たち教育委員会の重要な責務の一つでございます。今年度から、これまで上尾・伊奈・桶川・北本・鴻巣の5市町の協議会による採択と違い、上尾市が単独で採択を行うこととなりました。教科用図書の採択でございますが、採択の権限は教育委員会にございます。採択については、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領の目標をふまえ、全ての児童にとって教育上有効かつ適切なもので、しかも地域の実態に即したものを文部科学省「小学校用 教科書目録」の中から、1種目につき、1種類の教科書を選定し、採択します。通常、4年間同一の教科用図書を使用します。このたびの採択結果は、平成26年9月1日以降、上尾市のHP等を通じ、公表する予定となっております。委員の皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、各教科書発行者の教科用図書を調査研究していただいたことと存じます。本日は、各教科の専門部会、資料作成委員会で作成いたしました研究結果について、ご報告させていただきたいと存じます。なお、報告につきましては、資料作成委員長の渡邊校長の進行の下、各教科の専門部会長から教科用図書の特色などについて、ご報告を申し上げ進めさせていただきます。それでは、よろしく願いいたします。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長)ただ今から、平成27年度使用小学校教科用図書の採択に係りまして、資料作成委員会による選定資料を報告いたします。はじめに、配布させていただいております、お手元の資料につきまして、説明申し上げます。配布させていただいております資料は、ファイル資料1冊と埼玉県教育委員会の調査資料でございます。本日は、ファイル資料の1 資料作成委員会が作成しました選定資料をもとに報告させていただきます。今回、採択する教科書は、平成27年度から4年間、小学校で使用することになります。ファイル資料の裏表紙には、各教科書発行者が発行しております教科用図書の種目一覧となっております。それでは、また元に戻っていただきまして、1 選定資料をご覧ください。これから報告をいたします各教科の教科用図書の研究結果資料でございます。この作成過程を御説明いたします。上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、上尾市立小学校の教員から各教科の専門的知識を有する教員を専門部員として任命し、全ての教科書発行者の教科用図書について、調査研究いたしまして、まとめたものが 2 調査研究資料①です。この資料は、教科書発行者ごとに1枚となっております。それを、資料作成委員会で、さらに調査・研究し、作成したものが調査研究資料②です。ファイル資料の3は、各小学校の教員による調査研究結果です。ファイル資料の4は、各小学校の保護者代表による調査研究結果です。ファイル資料の5は、文部科学省がまとめました各教科書発行者の教科書編集趣意書となっております。以上、配布させていただいております選定資料の説明とさせていただきます。それでは、これから各教科の報告に入らせていただきます。よろしく願いします。はじめに、国語及び書写につきまして、国語科専門部会長が申し上げます。選定資料の国語をお開きください。

○国語

(国語科専門部会長)国語につきましては、5者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、単元のねらいを明確にし、ねらいに即した最適な言語活動を単元名として掲げている。1教材1領域で学習のねらいを重点化し、つきたい力を「言葉の力」として明示している。習得した知識・技能の活用を図るために、各単元に既習事項との関連を示す「つながる」欄を設け、また、他教科や実生活に活用できるよう必要に応じて「ひろがる」欄を設けている。資料については、鮮明な写真と想像を広げるカラフルな挿絵が豊富に使われている。1～4年は上下巻の二分冊、5・6年は合冊である。

学校図書は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、系統的・段階的に上学年につなが

るような、また、各学年夏休み前までに基礎的な能力の獲得を目指せるような学習の配列にし、国語で獲得した力を他教科等で効果的に発揮できるよう配慮されている。また、習得した知識・技能を活用するために、はじめに「この単元の学習の流れ」が載せてあり、具体的でわかりやすい学習の見通しを示している。資料については、興味がわくような挿絵や鮮明な写真が豊富に使われている。各学年、上下巻の二分冊である。

三省堂は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、1教材1領域にねらいを焦点化し、児童が明確な目標をもって学習に取り組めるようにしている。「覚えておきましょう」欄を設け、基本的な言語技能を定着させ、他の学習でも活用できるようにしている。習得した知識・技能の活用を図るために、「読むこと」で学習した技能が、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の表現活動で活用できるように工夫している。資料については、思考力や表現力を育むための図表や写真が多く使われている。1年は上下巻の二分冊、2～6年は合冊と資料の分冊である

教育出版は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、言語活動が分かる目標を設定し、学習の展開や段階を明示して見通しをもって学習を進められるようにし、振り返りの過程も位置づけている。「ここが大事」欄を設け、学習のポイントや学習用語を解説している。習得した知識・技能の活用を図るために、総合的な単元が配列されている。各学年「〇年生で読みたい本」として約80冊の図書を紹介している。資料については、大きく鮮明な写真と挿絵が豊富に使われている。各学年、上下巻の二分冊である。

光村図書は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、学習内容を領域ごとに絵記号を用いた一覧で表示し明確化している。単元のねらい、学習の展開や段階を明示し、児童が学習目的を意識し見通しをもって学習できるように工夫している。習得した知識・技能の活用を図るために、巻末教材にも多彩な資料があり、豊かな語彙の拡大や読み広げ、読書の促進、他教科との関連が図れるような工夫をしている。資料については、教材の内容理解を助け、イメージを広げるための絵や写真等が多く適所に使われている。1～4年は上下巻の二分冊、5・6年は合冊である。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、基本的な言語能力や伝え合う力の育成、児童の主体的な学習、習得と活用、伝統的な言語文化への配慮され、言語活動が今まで以上に充実していること、見通しを持って学習し、学ぶ楽しさを味わえるように工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

○書写

(国語科専門部会長) 続いて、書写につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は基礎・基本の定着を図るために、3段階の学習の手引き「調べよう」「確かめよう」「広げよう」を設けて学習過程を明確にし、理解、練習、定着と段階的に学習が進められるようにしている。低学年ではシールを活用して楽しく学習できるようにしている。教科書のサイズがB5判より横が2.8cm広い。特徴として、学習過程の明示や吹き出し等に親しみやすい動物のキャラクターが登場し、学習の進行を助けている。

学校図書は、基礎・基本の定着を図るために、学習する事項を単元名にしており、さらには、学習のめあてに即した解説を半紙原寸大の手本につけている。また、全ての学年の各単元に自己評価欄を設定し、自ら考え自ら学ぶ力の育成について、適切に配慮している。特徴として、身近なキャラクターの吹き出しにより学習のポイントが分かりやすいように示され、また、その部分を取り出して大きく示している。

三省堂は、基礎・基本の定着を図るために、書き込み欄を設け、学んだことをすぐに書いて確かめられるようにしている。見通しをもって学習できるように、学習の流れを分かりやすく示し、学習過程の中で、考えたり判断したりする活動を多く取り入れている。「ひろげよう」では、実生活に関連させた教材を多く提示している。特徴として、児童に親しみやすいイラストや鮮明な写真を用いて、学習意欲を高めるようにしている。

教育出版は、基礎・基本の定着を図るために、「ここが大切」欄が設けられている。また、「知りたい文字の世界」のページでは、発達段階に応じてテーマを設定し、文字に対する興味・関心を促し、「はってん」コラムでは、興味・関心や学びの意欲を高め、習熟度や個に応じた学習ができる。4年生以上では「課題選択」教材を設けている。特徴として、親しみやすいキャラクターを使い、吹き出しの形でポイントを解説したり、筆使いのポイントを楽しく説明したりしている。

光村図書は、基礎・基本の定着を図るために、「学習の進め方」として導入・理解・確認・自己評価

という学習の流れを、巻頭に示している。複数の色使いにより筆遣いが理解しやすいようにしてある。資料や写真類も多く、各教科と関連した教材もあり主体的学習の手助けとなる。写真やイラストも豊富で視覚的に理解できる。特徴として、学習のポイントを示す「たいせつ」のイラストや課題解決のヒントを出すキャラクター等が使われ、主体的な学習ができるよう工夫している。

日本文京出版は、基礎・基本の定着を図るために、各学年の発達段階に即した構成になっている。各単元とも「易から難」へ段階的・系統的に学習が配列されている。全学年において、書写で身につけた基礎・基本を、日常生活に、国語や他教科の学習に、総合的な学習の時間に生かしていく構成になっている。特徴として、学習のめあてにそったポイントを、人気のキャラクターを用いた吹き出しで示している。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、硬筆、毛筆における基礎的、基本的技能の確実な習得、子ども達自らが主体的に学習し、書くことが好きになる事の工夫、書写学習で身につけた技能を日常生活へ活用していく事等への配慮がなされ、書写を通じて生きる力の育成に努力していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

（教科用図書選定資料作成委員会委員長） それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

（委員） 国語についてですが、例えば東京書籍は、国語を日本国の言葉として学習できるという事を重んじているように感じます。また、三省堂は子ども達が使うには難しいのかなと感じる箇所がありました。脚注に大変素晴らしいことが書いてあり、学びを広げることが出来るように感じました。また、点字表について、教育出版が、凹凸が分かり易く感じました。光村図書は、学習の事項が分かり易く、学習を見渡すのに良いと感じました。書写に関して、東京書籍のシールが大変使い易いと感じました。光村図書の「たいせつ」マークも非常に良いものだと感じました。以上です。

（委員） 国語に関しては、学校図書の獲得した力を他教科等で効果的に発揮できるよう配慮されている点が、非常に良いと感じました。これからは、子ども達の考え方は、理科、国語、算数というように分かれておらず、総合的に考えますので、学んだことを生活に活かすような配慮はとても良いと思います。光村図書は、読書の促進に力を入れているように感じました。教育出版も80冊の図書を紹介していましたが、光村図書は色々な図書を紹介されており、非常に参考になり、保護者にとっても、本を読む習慣をつけるのに役に立つように感じました。書写については、教育出版の課題選択になっていること、やはり、ある程度の年齢になりましたら、自らが課題を選択し、自ら学ぶというような教科用図書になっていると、子ども達が主体的に学ぶことが出来るのではないかと感じました。以上です。

（教科用図書選定資料作成委員会委員長） 続きまして、社会・地図につきまして社会科専門部会長が説明申し上げます。

○社会

（社会科専門部会長） 社会につきましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、我が国の国土と歴史に対する愛情が育てられるよう、児童の興味や関心を喚起する具体的な社会的事象を教材化しています。「まなび方コーナー」によって、社会科のスキルが身に付けられるよう工夫されています。学習問題や「つかむ・調べる・まとめる・いかす」という学習過程が明示されており、見通しをもって主体的に、問題解決的な学習に取り組むことができるよう配慮されています。各種資料も質、量ともに充実しています。

教育出版は、今日的な課題や日本の伝統文化等を教材化し、単元構成されています。「まとめる」コ

ナーの設定により、キーワードに着目した振り返りができるようになっており、学び方と基礎・基本の定着が図られるよう配慮されています。各学年の巻頭に問題解決的な学習の進め方を示し、見通しをもって主体的な学習ができるよう工夫されています。教科書に直接書き込んで、知識の整理と定着が図れるような構成にもなっています。

光村図書は、発達段階に応じた事例や資料によって、社会に参画する公民的資質の基礎を養うことができるよう配慮されています。「ことば」で語句の説明を行うことで、基本的知識の定着が図られるようになっています。「ホップ・ステップ・ジャンプ」と学習過程が提示され、問題解決的な学習が進められるように構成されています。発展的な学習にも重点をおいています。ページ数、資料が厳選され、5・6年生は学年1冊の構成となっています。

日本文教は、基礎的・基本的事項、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっています。「学び方・調べ方コーナー」で、学習内容、学習方法や技能、基礎的・基本的事項の定着が図られるよう工夫されています。発展的な学習も内容が充実しています。学び方も具体的に示され、一人学習や発展的な学習ができるよう配慮されています。吹き出しを活用し、学習内容の定着や思考の助けとなるよう配慮した構成となっています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、社会科は問題解決的な学習の展開が重視されていますが、その点を踏まえ、名称には違いはあるものの、学習問題や学習過程をわかりやすく提示し、問題解決的な学習が展開されるように配慮した構成となっています。また、学び方についても「学び方コーナー」などと示しながら、主体的な学習となるよう配慮されています。用語の解説も工夫しながら、基礎的・基本的事項の定着が図られるような構成になっていることが挙げられます。これで、報告を終わります。

○地図

(社会科専門部会長) 地図につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、地図の見方、地図記号、方位、縮尺などの基本的な事項が「地図帳の使い方」として巻頭にまとめて提示されています。統計資料や索引が充実しています。A4判の装丁を活かして、基本図の範囲も広く、文字も大きく見やすい書体になっています。地図と写真やイラストを組み合わせ、多面的・多角的な見方ができるように配慮されています。資料が厳選されていて、小学生の発達段階に合わせた配慮がなされています。

帝国書院は、基本的な地図指導の内容、地球儀の活用の仕方がおさえられています。巻頭には、47都道府県の特徴、名称、位置について作業学習ができるようになっています。キャラクターを使い、資料の読み取り方や索引の活用を促すよう工夫しています。関東地方や北アメリカに重点をおき、多くのページを割くなど、構成上の工夫も見られます。基本図には、土地利用や学習上必要と考えられる地名などが多く掲載されています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、社会科の学習内容を踏まえた学び方、地図の使い方、資料が掲載され、社会科の学習で活用しやすい構成となっています。基本図に関しては、地形図と土地利用図を合わせて表現したものとなっていて、地名についても市町村合併を配慮して掲載しています。中学校学習指導要領社会科を踏まえて、小学校段階での日本の範囲、領土の学習も重点をおいて構成されていることが挙げられます。以上、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) 地図ですが、見た目のイメージは非常に大事かと思えます。色使いや、何を伝えたいのかといった観点を中心に見させていただきました。子どもの目からすると、色使いやインパクトといった点で、東京書籍の統計資料が非常に見易く、レイアウトも分かり易く感じました。字も大きく、見易い点が大事かと思えます。

(委員) 社会についてですが、東京書籍の「のび太、ドラえもん」が、大変良いと感じました。子ども達が興味を持つものを使用することで、自然と学習に入っていけるように感じました。文字の大き

さ、見易さ、覚えるポイントの明確さについて、他の書籍に比べ、優れていると感じました。地図に関してですが、こちらも文字の大きさ、興味が湧くといった点で見比べたところ、非常に面白く感じましたし、巻頭の地図の使い方が、初めて地図を使う児童にとっては大変参考になると感じました。

(委員) 4者とも、問題解決的な学習を進める構成になっており、非常に分かり易く学習できると感じました。社会科は、興味や関心を喚起する具体的な社会的事象という点で、各者共に記述はあるのですが、特に東京書籍は分かり易く教材化されており、非常に関心を惹かれました。各者共、非常に良く出来ており、社会科が楽しく学べるよう感じました。

(委員) 質問をさせていただきます。地図ですが、どちらの地図も素晴らしく見易いと思うのですが、A4判というのは珍しいのでしょうか。

(社会科専門部会長) 今までは、A B判と言われる、縦がB5判、横がA4判の形でした。帝国書院はA B判ですが、東京書籍は今回初めてA4判を使用しております。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) ここで、暫時休憩をお願いします。その間に、次に報告する資料作成委員の準備をいたします。再開後は、算数から報告いたします。

～ 休 憩 ～

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。算数につきまして、算数科専門部会長が報告申し上げます。

○算数

(算数科専門部会長) 算数につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、算数科の目標から見ますと、算数的活動が、単なる活動に終わることなく、ねらいが明確に伝わり、数理的な処理のよさに気付くことができるように配慮されています。また、「算数ができる、分かる、使える」ことを重視し、問題解決的な学習を中心とした構成になっており、そのための学び方や学習の手順が例示されています。さらに、児童が目的意識をもって主体的に取り組めるよう身近な内容に関わる写真や絵が多く、吹き出しが効果的に使われています。言語活動の観点では、図や式による解決方法を説明するなどの活動が示され、図の系統的な活用が図られています。日常生活との関連では、随所に算数を生活場面に生かす問題や話題が示されています。教科書の仕様については、1～5年が分冊、6年の背表紙に「数学へジャンプ」と記され合本されています。

大日本図書は、算数科の目標から見ますと、算数的活動を充実させ、各領域の内容が活動を通して学習できるように配慮されています。言語活動の観点では、問題の解決の仕方が複数示され、一人一人が考えをもち、比較・検討しながら話し合いができるように工夫されています。また、自分の考えを記述できる形式をとり、児童が意欲をもって自ら学ぶ態度を培うよう問題解決型の展開を中心として構成されています。日常生活との関連では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、日常生活の中から算数的事象を探してみたりする活動が盛り込まれています。問題を解くときの手段として、数直線の書き方を丁寧に扱い、数直線を用いて解決する表現が取られています。教科書の仕様につい

ては、図や表は色づけされ、自分の考えや理由が書き込めるように工夫されており、また、1～6年全てが一冊に合本されています。

学校図書は、算数科の目標から見ますと、児童が興味・関心をもって自主的・自発的に学習できるよう生活の場を設定し、具体的操作、体験活動などの算数的活動を充実させた構成となっています。言語活動の観点では、自分の考えをもち、他者と関わりながら行う問題解決的な学習を中心とし、発表や説明などの活動を取り入れるように配慮されています。学習への取り組みを促進するため、単元前に「学びの準備」のページが設けられ、既習内容の確認ができるように配慮されています。また、巻頭に「算数でよく使う考え」のコーナーが設けられています。繰り返し学習の観点から、各学年に「倍の計算」という特設単元を設け、重点的に取り上げて学習内容の定着が図れるように工夫されています。教科書の仕様については、1・5・6年が1冊に合本され、6年に「中学校へのかけ橋」として分冊が用意されています。

教育出版は、算数科の目標から見ますと、作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする活動など、算数的活動を重視しています。また、児童が主体的な学習を通して知識や技能を獲得し、活用できるように配慮されています。言語活動の観点では、随所に大切な考え方や学び方を示し、具体的な学習場面を通して一人一人が考えをもち、学び合いができるように工夫されています。生活や学習に活用するという観点では、単元の終わりに学習した内容を活用する問題が設けられ、学習内容を生かし深めることができるように工夫されています。学習内容の定着を図るために、各単元のまとめの振り返りが「4コマ漫画」で示されています。また、ページ下部にクイズなどの豆知識のコーナーがあり、児童への情報が多く記載されています。教科書の仕様については、1・5・6年は1冊に合本され、2・3・4年は上下巻の分冊になっています。

啓林館は、算数科の目標から見ますと、児童が主体的に取り組めるよう、学びのめあてを示すなど問題解決型の学習を中心に構成されています。また、「学びを生かそう」のコーナーでは、具体的な場面を示して問題解決の方法を考えたり、実験的に確かめたりする活動を取り入れています。活用に関しては、系統性を重視した問題や身に付けたことを活用する特設ページが配置されています。言語活動の観点では、学習の進め方や話合いの仕方、学習の感想が示され、児童が目的意識をもって学習を進める際の配慮がされています。本教科書の特徴として、巻頭に保護者に向けてのメッセージが掲載され、家庭との連携を図っていること、また、巻末の切り取り用教具は、児童に親しみやすい図柄となっていることが挙げられます。教科書の仕様については、1・5・6年は1冊に合本され、2・3・4年は上下巻の分冊になっています。

日本文教は、算数科の目標から見ますと、児童による主体的な学びを重視し、問題解決型の学習を中心に構成されています。また、「いち・に・算活」というコーナーを随所に設け、作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活かせるような算数的活動の内容が具体的に示され、算数のよさを感じられるように工夫しています。言語活動の観点では、学び方や発表の仕方、話合いなどの観点が示され、解決・発表・話合いなどの活動を行う際の配慮がされています。本教科書の特徴として、各ページの端の部分の色づけし、ヒントや吹き出しなどの学習の手がかりとなることや、「もう一度考えよう」という学習の振り返りができるような問いを示しています。教科書の仕様については、1年生以外は上下分冊で、全学年、教科書の横幅が広がっています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、いずれも、「算数科の目標」を達成させるのに十分であり、算数的活動や言語活動を重視し、解決の仕方を説明したり、話し合ったり、学び合ったりする活動が盛り込まれ、問題解決的な流れを取り入れた構成になっていることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) 学校図書の6年に向けた、「中学校へのかけ橋」が子ども達にとって、中学校に入ってから慌てないですむように別冊として用意されているのが、非常に良いと思います。東京書籍にも「数学へのジャンプ」として同様のものが用意されており、6年生に配慮した教科書は大事だと感じました。学校図書と東京書籍は、他者よりも算数を生活に結び付けて考えており、とても興味・関心を惹くのではないかと思います。

(委員) 子ども達が“数”“数字”といったものを、理解したり、大事にするところから、東京書籍は、大変よく出来ていると感じました。学年が上がっていくに従って、学習する事項が分かってくる点が素晴らしいと感じました。一方で、学校図書の「ノート名人」というのは、ノートをつくることに関して、与えられた教科書ではなく、自分で作るノートということで、良く考えられていると感じました。委員の言われました「中学校へのかけ橋」は、算数から数学へ、小中連携にとても良い教材だと思いました。啓林館の保護者に向けたメッセージの狙いが良く分かりませんでした。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 続きまして、理科につきまして、理科専門部会長が報告申し上げます。

○理科

(理科専門部会長) 理科につきましては、6者が発行しております。信州教育出版は、見本の本を送付しないということでした。したがって、調査できず、5者を研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、問題解決の過程を色のラインで示し、学び方のイメージを持てるように配慮しています。安全に配慮が必要な箇所には赤の「きけん」マークを記載し、注意を促しています。実験・観察では、児童が主体的に行えるように、手順や用意する物をわかりやすく示し、実験の進め方などに重点が置かれています。単元のおわりにまとめを設け、学習内容の定着や活用する力を重視しています。文字の大きさは比較的大きめで見やすい紙面構成となっています。

大日本図書は、はじめに「理科の学び方」で、問題解決の流れを示し、見通しをもった学習を進めることができるようにしています。安全に配慮が必要な箇所には「注意」マークを記載し、注意を促しています。実験・観察では、方法や結果の記録などがわかりやすく示されています。下位学年の学習内容を記載し、振り返りができるように配慮されています。学習内容に関連した解説や資料等を多く掲載し、詳しく説明が記載されています。

学校図書は、巻頭で、学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。安全に配慮が必要な箇所には「注意」マークを記載し、注意を促しています。観察・実験では、準備品をわかりやすく示し、児童が主体的に調べられるようにしています。前学年までの既習事項について振り返り、学習内容の系統性を重視しています。語句や名称の説明や科学者のイラストを効果的に掲載し、知識・理解の定着にも配慮がされた構成としています。

教育出版は、巻頭で「学習の順序、学び方」をわかりやすく示すことで、見通しをもって学習できるように配慮されています。「注意」「危険」マークや裏表紙に「安全の手引き」を掲載し、安全指導の徹底を図っています。実験・観察では、準備品をわかりやすく示すとともに、問題解決の学習の流れを統一し、主体的に学習が進められるように工夫をしています。単元末では、学習事項の確認し、既習事項を記載することで系統性を重視した構成としています。

啓林館は、はじめに「学習の進め方」を示し、学習の流れをわかりやすく示しています。安全に配慮が必要な箇所には多種類のマークを使い、注意を促しています。観察・実験では、図や写真で示され、手順が1ページにまとめ、考察を文章で表すだけでなく、絵や図を使って表現できるように工夫されています。また、別冊「わくわく理科プラス」では、自分の言葉をまとめたり、図で表したりすることで、既習事項を振り返り確認ができるようにしています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、巻頭で、学習の流れ、理科の学び方を意識させ、問題解決の過程について見通しをもって学習できるように配慮されています。安全に配慮が必要な箇所はマークを使い注意を促しています。実験・観察の仕方、まとめ方をわかりやすく示し、工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) 理科は、科学の芽を育てるという意味でとても大事だと思っております。子ども達の「なぜ？」が非常に大事だと思います。実験や観察が多く載せられているのが、必要ではないかと感じております。「どうして？」を追求していける教科書が大切だと感じています。各者ともに多く載せられていますが、注意とか危険だとかについても必要となりますので、その様な点に着目していきたいと思えます。

(委員) 小学校の理科は、私は「見えた事実」が大事だと思います。その様な視点で見たときに学校図書や教育出版は、よく分かるような構成になっていると感じました。特に教育出版の穴埋めは興味が湧くのではないかと思います。

(委員) 昨今、流行っている言葉で「理科離れ」という言葉があります。児童が初めて理科に接するにあたり「やってみよう」「なんで?」「調べよう」ということが、興味をそそると思えます。興味があれば、理科を学びますので、その様な点では、教育出版が良く出来ていると感じました。更に解決の流れが統一されているとの観点がありますので、それが自分の中で学習として育っていくと思えます。社会に出てからの、問題解決に繋がっていくように思えます。東京書籍は、イメージをする中でやりやすく感じました。他に、学んだことを振り返って先に進んでいくという点では、学校図書が良く考えられていると感じました。啓林館の「わくわく理科プラス」は大変効果があるように感じました。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 続きまして、生活につきまして、生活科専門部会長が報告申し上げます。

○生活

(生活科専門部会長) 生活科につきましては、8者が発行しております。信州教育出版は、見本の本を送付しないということでした。したがって、調査できず、7者を研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、学習活動や対象の選択について児童の思考の余地を設け、主体的に対象との関わりを深める構成になっております。気づきを多様な方法で表現する学習活動が挿絵や写真、吹き出し等で示されております。活動に即し、安全やマナーに関する習慣・技能が身に付くよう「やくそく」や「注意すること」のマーク等の配置、上下巻末には「べんりてちょう」の配置等工夫されております。安心して学校生活をスタートできる手引きとして添付してある「すたあとぶっく」、野外活動に使用できる「ポケットずかん」、「べんりてちょう」等は、児童自ら関心を持ち、関わりが持てるよう工夫されております。

大日本図書は、季節の変化をふまえた大単元の構成で、単元毎に実生活との関わりを考慮し、写真や関係のある言葉、発展的な活動などを配置し、自ら生活に取り入れるよう配慮されております。「せいかつことば」が設定され、語彙力や表現力を豊かにし思考や表現の幅を広げています。見開き右上にある葉の中に活動課題、具体的な活動や体験につなげる例示や投げかけ等が随所にあり、自分自身について考えるよう工夫されております。上下巻末や単元内に設けられている「がくしゅうどうぐばこ」には道具の使い方や動植物等の情報が掲載され、主体的な活動を促すよう工夫されております。

学校図書は、活動のねらいを明確にし、内容を「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」の五つの活動領域に整理された大単元構成となっております。活動の内容毎に関連を持たせ、目的と見通しを持って活動できるよう配慮されております。巻末には「学び方図かん」があり、豊富な資料から児童が興

味を持ち、主体的に学ぶことができるように工夫されております。「ものしりノート」は学習体験が広がるよう構成されていて、遊び方や表現方法などが具体的に示してあります。児童同士の関わりや一人一人の思いを明確にして、成長していく様子を可視化し、自分の考えと比較できるようになっております。

教育出版は、単元のはじめに詩や「おしゃべりタイム」で児童の思いや願いを示し、学習への興味を持たせ児童自ら学習に取り組める構成となっております。国語、音楽、図工等の他教科と合科・関連が図られるよう教科マークが示されております。巻末の資料には、学習や日常生活に必要なスキルがまとめられている「ぐんぐんポケット」があります。上下巻末には「せいかつかノート」の書き込みページを設け、1年間の学習の振り返りに活用できるようになっております。「ふりかえる」で自己評価し、「おうちでチャレンジ」では学習したことを家庭や地域で広められるよう工夫されております。

光村図書は、全ての単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、児童の思いや思考の流れを大切に活動が活発に展開するよう配慮されております。その中で、生活上必要な習慣や技能が自然と身につくよう工夫されています。指示ではなく写真や短い言葉の投げかけで子どものやる気を促しており、「どうすれば～できるかな」を設け、ヒントをもとに自ら考える力が育つような工夫がされております。上下巻末に配置された「きせつのおくりもの」では、季節の変化を大切に写真や絵を紹介し、自然に対する興味関心を持たせるよう工夫してございます。

啓林館は、単元構成が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階を繰り返す構成で、児童の思考が自然に流れ、活動や気づきが深まっていくよう配慮されております。活動の目的をキャラクターや色で示し、児童の活動や気づきを広げ、発展的に学習が進められるよう工夫されております。上下巻、別冊資料の3巻構成で、「たんけんブック」別冊は野外活動がしやすいよう持ち運びに適し、植物・生き物・遊び・安全等が紹介されております。「わくわく」「いきいき」では、危険回避能力を高めるため、基礎的基本的な生活習慣を意識したコーナーを設けております。

日本文教は、多様な表現方法による様々なまとめ方の例示や児童の自立を促すアドバイスにより、学習のまとめに必要な技能を身に付けるよう配慮されております。課題に合わせ多様なカードで表現することにより、活動を振り返り見直しを持って考えさせるようにしております。スタートカリキュラムの「いちねんせいになったら」では、学校生活の基礎基本となる7項目が掲載され、生活・安全面等、入学当初の教育活動に活用できる配慮があります。「なんでもずかん」が巻末にあり、福祉・環境、食育、防災等の資料が写真や絵で掲載され、児童の活動意欲を高めるよう工夫されております。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、児童の思いや思考を大切に活動が展開されるよう工夫されており、児童の興味や意欲を促し、主体的に学習できるよう配慮してございます。また、生活に必要な安全やマナー等を身につけるための資料、自然や生き物等に対する興味・関心を持たせるような写真や絵等の情報を工夫して掲載していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

（教科用図書選定資料作成委員会委員長） それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか

（委員） 生活科は、自立への基礎作りということで、7者とも意識して構成されているように感じました。特に教育出版の「おしゃべりタイム」ですが、人と関わりながら、自分の思いや願いを述べ合って学習していくところが、スムーズに自立していくように感じました。大日本図書なども実生活とのかかわりをととても考慮されており、また、生活言葉が面白いと感じました。語彙や表現が豊富になり、コミュニケーションも育ってくると感じます。学校図書は、生活科は気付きを大切にしていますので、多様な表現できるということで、気付きを大切に、思いや願いを確立していくように構成されていると思いました。

（委員） 生活科の授業は、社会性が広がる成長期にとっても大事な教科だと思います。道徳的な視点で、何を伝えていけばよいのかと考えております。子ども達にとって分かり易く伝えられるものが良いと思います。

(委員) 自立への基礎ということで、構成されていると感じました。その中で、「スタートブック」に感動しました。小学校1年生は、義務教育の始まりですので、どのような集団での生活、どのようなルールがあるということを、「スタートブック」は入り易さという点でよく考えられていると感じました。大日本図書の写真は大変豊富で、子ども達が文字ではなく、感じて入っていきやすいと感じました。中に規律という言葉があると思いますが、各者とも考えられておりました。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) ここで、暫時休憩をお願いします。その間に、次に報告する資料作成委員の準備をいたします。次回の再開は、10分後から、音楽を行います。

～ 休 憩 ～

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。音楽につきまして、音楽科専門部会長が報告申し上げます。

○音楽

(音楽科専門部会長) 音楽につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。教育出版は、学習内容が2学年ずつのまとまりで系統的に配置され、発達段階に応じて継続的・発展的に学習できるよう工夫されています。段階的に繰り返し学習できるように基礎的・基本的な内容を習得できるように配列されています。さらに、思考力や表現力を育成するために、巻末の「音楽のもと」「音楽を表すいろいろな言葉」は、学年に応じた説明になっています。教科書に書き込める欄があり、透明シートの活用など意欲的な学習に取り組める工夫があります。そして、子ども達の実態に即した紙面や豊富な資料によって音楽を愛好する心情や感性が育まれるような工夫がなされています。

教育芸術社は、学年の目標を踏まえ、2学年共通の活動目標が示され、基礎的・基本的な学習内容が系統的・段階的に組織されています。基礎的・基本的な学力の定着を図るために、基礎的な用語や共通事項を子どもが親しみやすい言葉や図で表現しています。また、感じ取ったことをもとに、思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるように譜例や挿絵を用いた説明が充実しています。さらに、音楽活動においては豊富なヒントや資料によって自主的な学びが支援されております。そして、ユニバーサルデザインの理念に基づき、イラストなどの落ち着いた色調や文字の大きさ等の紙面構成をしています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、基礎基本を重視した題材構成をしながら表現と鑑賞の関連を図っています。また、共通教材を日本のこころのうたとして取り上げ、我が国の自然・文化と音楽を愛好する心情を育てる工夫を図っています。さらに、資料が豊富であり、分かりやすく、楽しめる写真やイラストが掲載されています。そして、楽譜や文字の大きさも発達段階に応じて工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか

(委員) 全体的に、報告いただいたとおり、両者ともカラフルで、見易く、入り易いと感じました。日本の昔からの歌などは、その風景が彷彿と浮かび上がるような掲載されており、特に教育出版は見開きになっており、イメージが掴めるくらいの工夫がされていると感じました。教育芸術社は鍵盤ハーモニカを使用する楽曲が少し少なく感じました。2者を比較すると、楽曲の量が違うと感じました。教科書を取っておけば、ずっと使用できるくらい教育出版は楽曲が多く感じました。説明も細かくさ

れており、さざれ石などは1年生から写真入で紹介されており、イメージが掴めるような工夫がされていると感じました。

(委員) 教育出版は、音楽のどこを楽しんで欲しいのかを単元ごとに記載されており、児童が入っていきやすいと感じました。一方、教育芸術社は、理解する知識の挿絵が大変多く、双方とも抜きん出ている箇所があると感じました。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 続きまして、図画工作につきまして、図画工作科専門部会長が報告申し上げます。

○図画工作

(図画工作科専門部会長) 図画工作科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果をご報告いたします。まず最初に、開隆堂は、児童の発達段階に応じて系統的に作られており、基礎的基本的な技能の習得や扱う材料・用具について配慮しています。特に技法については「道具箱」として、色彩については「パレットコーナー」として資料を提示し、児童が確実に身に付けられるよう工夫しています。また、児童が主体的に活動できるような発展的内容の写真を豊富に示し、創作意欲を喚起しながら作り出す喜びを味わえるようになっております。さらに、発想・構想の場面では創作のヒントになるような表示があり、具体的な姿として示しています。題材については、低学年では造形の楽しさを味わえるような題材、中学年では、児童の交流活動を重視してコミュニケーション能力の育成を目指した題材、高学年では、中学校美術科への接続も考慮し、自由に発想や構想のできる題材が示されています。授業終了時の振り返り活動についても、マークを用いて各題材で統一され、言語活動を充実させながら学びを確認しやすいように配慮がなされています。

続いて日本文教出版ですが、表現と鑑賞の一体的な活動が取り上げられており、表現活動の中でも鑑賞の能力が育成できるよう配慮されています。基礎的基本的な技能の習得についても、「使ってみよう材料と用具」という設定で、表現に必要な技法や知識として巻末で幅広く6ページにわたり紹介しています。特にキャラクターが発想・構想時のヒントや手立てを投げかける形で表示するなど、児童が基礎的な活動を推し進められるよう配慮がなされています。また、児童が主体的に活動できるように「学習のめあて」を題材の冒頭に提示し、分かりやすい表現で目標を観点別に共有しながら創作意欲を高められるようになっております。題材については、低学年では作り出す喜びを味わう姿を示し、中学年では積極的に活動していく姿と同時に友だちと喜びを共有する姿を示し、高学年では対象を見つけ、自らの中で生まれる造形的主題を深めていく姿を示す題材となっております。さらには、制作の留意点、片付けの仕方等の表記を統一し、手順を明確にすることで指導が行いやすくなるよう配慮がなされています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、資料①にも書かせていただきましたが、「基礎基本の技能の習得」「思考力・判断力表現力等の育成」「主体的に取り組む工夫」「題材の設定」等の項目についてはそれぞれ表現は違いますが工夫、配慮が見られます。また、2者ともにユニバーサルデザインにも工夫し、特別支援教育への配慮も見られます。また、鑑賞活動についてもそれぞれ特設のコーナーを設けるなど、充実した掲載をしていることが挙げられます。最後になりますが、教科書の大きさについては、開隆堂はA4判、日本文教出版はA4判より縦が2センチ短いレターサイズとなっております。以上で、報告を終わりにいたします。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) 双方ともよく出来ていると思います。5・6年生のパレットコーナーであるとか、1・2年生のクレパスの使い方、重ね色などの点で開隆堂が良く出来ているとは感じましたが、どちらも素晴らしいと感じました。

(委員) 開隆堂は、小、中、高学年ごとに取り上げられている題材が、年齢に応じて作りたくなるような題材を選んでいたように感じます。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 続きまして、家庭科につきまして、家庭科専門部会長が報告申し上げます。

○家庭科

(家庭科専門部会長) 家庭科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、「いつも確かめよう」や「これだけではできるようになろう」というコーナーを通して、基礎的・基本的な技能を習得できるように構成されています。全ての大題材で、生活から課題を発見し、学習を生活に活かすことができるよう、ワークシートに考えを書き込む形式になっています。活動のマークで言語活動の充実が図られています。全ての題材を3ステップで構成し、主体的に問題解決的な学習が展開できるようにしています。豊富な写真や図表、イラスト等で、具体的に用具の扱いが示されています。出会いの単元に家庭生活を配置し、衣食住を繰り返し学習するようになっています。

開隆堂は、2年間を見通し、易から難へと、製作の技能は拡大写真で示し、繰り返し・積み上げ学習を通して基礎・基本の定着を図っています。「考えよう」「調べよう」「話し合おう」等の課題が適宜示されています。「学習のめあて」を提示し、終末には「できたかな」「ふりかえろう」の評価欄を設け、問題解決的な学習と、指導と評価の一体化を図っています。材料や用具の扱いについて、豊富な写真やイラストで大きく示し、安全マーク、防災マークで注意を喚起し、安全教育を徹底しています。家庭での取組も学期毎に設定され、生活で生きる確かな力が育成できるよう工夫されています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、教科書の大きさは、縦がB5判、横がA4判の大きさで、カラーユニバーサルデザインの観点、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童に見やすいようにと、配色及びデザインの配慮を行っています。衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にしていること、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる工夫がされていることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) 開隆堂の方が、写真がやや大きかったように感じました。この写真が、一目瞭然で子どもが学び易くなっていると感じました。特にチャレンジコーナーで発展的な学習が設けられており、家に帰って、やってみよう、参考にしようというような気持ちにさせるように構成されていると思います。

(委員) 家庭科は、今、あまり家庭でやらないようなミシンなどがあります。安全についても書いてある方が良いと思いますが、その点開隆堂の方が優れていると感じました。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) 続きまして、体育につきまして、体育科専門部会長が報告申し上げます。

○体育科

(体育科専門部会長) 体育につきましては、5者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。東京書籍は、授業一時間ごとの冒頭に学習課題が明示され、児童の学習活動が進めやすいよう工夫されています。また、吹き出しを使っての解説や説明がされており、基礎的・基本的な知識が習得できるようになっています。資料をもとに話し合いを進めるための視点が示され、自分の考えを表現できる構成になっています。さらに、インターネットを活用して調べるためのホームページアドレスが紹介されており、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。特徴としては、見開きの2ページで学習内容をまとめ、さらに、15のマークを示して分かりやすく興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。また、他教科との関連も表示されており、他教科と結び付けながら学習を広げていくことができるようになっています。教科書サイズは変形B5判となっています。

大日本図書は、学習課題が提示され、児童が課題に対して記入できる欄を設けるなど工夫されています。また、吹き出しを活用して学習のヒントやポイントが提示されており、基礎的・基本的な知識が習得できるようになっています。「活用」という欄では、自分の考えを書き込む活動を通して思考が深まるよう工夫されています。さらに、項目ごとに書き込む欄や「けんさく」「ミニ知識」を掲載することで児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。特徴としては、見開きの2ページで学習内容をまとめ、さらに10のキャラクターが登場し、学習のヒントを与えたり、ポイントをアドバイスしたりして、児童の考えを深める構成となっています。また、学習内容に沿ったイラストや図表、活用するシールなどが多く掲載されています。教科書サイズは、B5判となっています。

文教社は、各単元の冒頭に学習課題が問いかけ文形式で構成されており、児童が学習しやすいよう工夫されています。また、太字や黄色の塗り潰しで単元がまとめられており、基礎的・基本的な知識が習得できる構成になっています。「考えてみよう」という欄で学んだことを活用しながら思考を深めることができる構成になっています。さらに、「つぶやきくん」で関連するホームページアドレスや豆知識が記載され、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされています。特徴としては、直接書き込むことのできる欄が確保されており、効果的な学習活動の展開ができます。また、「発展」として、様々な資料や身近な関連する事例を載せ、健康な生活を送る資質や能力を育成するための工夫がされています。教科書サイズは、A4判となっています。

光文書院は、生活場面から学習課題を見つけ明確にすることで、児童が内容を理解しやすいよう工夫されています。また、重要な語句を太字や朱書きで示すことで、基礎的・基本的な知識が習得できるよう工夫されています。「あてはめよう」「みつけよう」「つたえよう」というコーナーが効果的に用いられ、自分の生活に生かして思考を深める構成になっています。さらに単元に関連するホームページアドレスが紹介されており、児童が主体的な学習に取り組む工夫がされています。特徴としては、学習内容が、「課題把握」→「習得」→「活用」の流れで一貫して構成されています。また、他の教科や他の学年の保健学習との関わりがマークで示されており、関連性を確認新柄授業を展開するための工夫がされています。教科書サイズはB5判となっています。

学研教育みらいは、各単元の冒頭に学習課題が明示され、児童が自らの生活に結び付けながら学習を進めることができるよう工夫されています。また、基礎的・基本的な学習内容が本文で簡潔にまとめられ、写真やイラストが豊富であり、知識が習得しやすいよう工夫されています。「かつよう」という欄では、自分の考えを書き込む活動を通して、思考を深めることができるよう工夫されています。さらに、「もっと知りたい・調べたい」のページでは調べ学習のヒントが記載されており、児童の主体的な学習を促す構成となっています。特徴としては、学習内容を見開きの2ページでまとめ、1時間の授業ができるような構成となっています。また、学習の振り返りや学習したことを活用するための書き込む場所が効果的に配置されています。教科書サイズは、A4判となっています。

以上、各発行者に共通する点といたしまして、基礎的・基本的な知識を習得させる工夫や、思考力、判断力、表現力を育成する工夫がなされ、主体的に学習に取り組む態度を養う配慮がされています。また、健康・安全についての理解を深め、健康な生活を送る資質や能力を育成するよう工夫していることが挙げられます。これで、報告を終わります。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、質疑に入ります。いかがでしょうか。

(委員) ここまで教える必要があるのかというところまで、各者細かく書かれておりました。特に、学研と文教社は、写真がリアルで綺麗なものでした。文教社の身近な人コメントが分かり易く感じました。学研は、色々なことが細かく、丁寧に書かれており、先生たちが教え易いように感じました。

(委員) 学習の仕方の工夫というところでは、学研、東京書籍が良く考えられていると感じました。先程、委員も先生たちが教え易いように感じましたとっておりましたが、子ども達にとっても、学び易いのかなと感じました。また、学研はイラストと写真が多く感じました。各者、書き込みの部分では東京書籍が最も多く感じました。

(教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、以上をもちまして、報告を終わりにいたします。

(教育長) 渡邊委員長、各専門部会長ありがとうございました。以上で教科用図書選定資料作成委員会が作成した報告を終わらせていただきます。委員長よろしく願いいたします。

(委員長) 報告ありがとうございました。委員の皆様、意見・質問等ありますでしょうか。各委員につきましては、今まで調査・研究をしていただいたと思いますが、本日頂きました報告・資料を基に、さらに調査・研究に励んで頂きたいと思えます。次回の会議において、採択を行いたいと存じます。なお、日時につきましては、調整をいたしまして連絡いたします。そのほか、委員の皆様から、ご意見、ご要望がございましたら、お願いいたします。

日程第8 閉会の宣告

(委員長) それでは、以上で、予定されていた日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会第2回臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。